HOKUGA 北海学園学術情報リポジトリ
学校法人北海学園
北海学園大学
北海商科大学

タイトル	菱川善夫・千葉宣一・村山 出・故池田英俊教授退職記念号によせて
著者	船岡，誠
引用	北海学園大学人文論集，26・27：i-ii
発行日	2004-03-31

Hokkai-Gakuen Organization of Knowledge Ubiquitous through Gaining Archives.

菱川善夫・千葉宣一・村山　出・故池田英俊教授退職記念号によせて

人文学部長　船　岡　　誠

本年3月31日をもって，菱川善夫・千葉宣一・村山　出・池田英俊の4先生がご退職になります。ご定年とはいえ，4先生のご退職は人文学部にとって大きな痛手であります。4先生は人文学部の創設とその後の学部の充実の要の役割を果たされてきました。平成5年創設の若い人文学部にとって，教育・研究の経験豊富な4先生からまだまだ学ぶことが多く残されているように思いますが，これもまたやむをえないことです。

菱川善夫先生は昭和52年に本学教養部教授として着任され，その後，学生部長・教養部長・図書館長の要職にも着かれました。平成5年に我が人文学部が開設されましたが，その新学部設置の困難な仕事の責任者としてご苦労されました。人文学部の創設の理念であります〝新人文主義〟も菱川先生のご提唱によるものです。人文学部が開設されますと，その初代の学部長に就任され，引き続き創設時の学部運営の困難なお仕事にあたられました。さらに大学院文学研究科の創設の責任者としてご苦労され，文学研究科発足とともにその初代の研究科長に就任され，文学研究科の進むべき方向性を定められました。菱川先生は，学部では「日本近代文学」を，大学院では「近代文学の美と思想」をご担当になりましたが，感銘を与える名講義だと学生から聞いております。ご自身歌人でもあり評論家でもありますから，ゼミ学生を中心に学生の創作に刺激を与え，また創作の発表の場をお作りになり，現在に及んでおります。

千葉宣一先生は人文学部創設の翌年，すなわち平成6年に本学の人文学部教授に着任されました。菱川先生と同様，〝風巻（景次郎）門下四天王〟のお一人でもある千葉先生は，当初から独特の存在感のある先生で，大所

高所からのご発言は教授会での議論の方向性をリードされました。学部では「外国における日本研究」「比較文学」を，大学院では「モダニズムの比較文学研究」をご担当になられましたが，その該博な知識は学生を圧倒したものと推測されます。千葉先生は一方で学外でもご活躍され，日中の文学交流研究などの功績で北京市社会科学院名誉教授の称号を受けられ，また日本比較文学会・日本文体論学会・日中関係史学会などでも重責を担われています。先生の口癖は〝知的青春〟でありまして，学生のみならずわれわれ後進にも〝知的青春〟の息吹を吹き込んでくださいました。

村山　出先生は千葉先生より1年遅れの平成7年に人文学部教授に着任されました。学部では「日本文学概論」「日本文学史」を，大学院では「万葉集と大陸文化」をご担当になりました。平成11年4月から4代目の学部長に就任されました。そのとき「私はひっそりと万葉の歌を一首ずつ読む喜びを味わい，あまたの疑問を自分なりに解いて行くのが，よほど自分にふさわしいと考えています」と語っておられますが，その誠実なお人柄で，学部長の重責を果たされ，引き続き研究科長として，従来から懸案になっておりました文学研究科英米文化専攻の開設にご尽力いただきました。

池田英俊先生は平成11年に人文学部教授に着任されました。学部では「日本文化論」を，大学院では「日本近代宗教史」をご担当になりました。先生は着任のその年から就職部委員になり，折からの就職難という時代の流れに抗するかのように，学生面談にかなりの精力を注がれました。池田先生は日本近代仏教史研究の泰斗として，学外にあっては日本近代仏教史研究会という学会を組織され若手研究者の育成に努力されてきましたが，平成13年から科学研究費補助金・基盤研究（A）「東北仏教の社会的機能と複合的性格に関する調査研究」がスタートし，本学の5名を含む14名の研究代表者となり16年度の完成を目指されています。

先生方には定年によるご退職ということになりますが，今後とも我が人文学部にたいして暖かい慈父のまなざしを注いでいただければ幸いです。先生方の今後ますますのご健勝を祈念して擱筆させていただきます。